

『命の山王』

No.5 令和6年5月8日（水）

行事を通して学んでほしいこと

来週の木曜日はT & F フェスタです。体育で歓声を上げながら長縄跳びやリレーの練習を頑張る姿や、学級で熱心に作戦会議をする様子が見られ、楽しみにしている人が多いだろうと感じます。

そして、多くの人が1位を「目標」にして取り組んでいると思います。

「目標」をもつことはとても大切なことですが、なぜ1位を目指すのでしょうか。

「誇らしいから」「自慢できるから」「負けるのが嫌だから」などという答えが返ってきそうですが、仮にそれらの理由だけで1位になったとき、行事の後に何が残るでしょう。その場限りの団結をして、お祭りのように一時的に盛り上がるだけでは、後には何も残らず、学級も成長しません。練習の時だけ仲間と協力して、普段は助け合いもしない学級。練習の時だけ時間を気にして、普段は時間を守らない学級。そんな学級では、もらった賞状もただの紙切れ同然ではないでしょうか。

『T & F フェスタへの取組を通して、日常生活が向上していく』

これがなければ行事の意味がありません。「目標」は1位でも、行事の「目的」は日常生活の向上にあります。たとえ1位にななくても、T & F フェスタ後に日常生活が今以上に向上し、清掃や給食の当番活動に協力して取り組めるようになったり、仲間と助け合い支え合いながら生活する人が増えたりする方が、1位になることよりも何倍も価値があることだと思います。



何年も前にある学校でこんなことがありました。あるクラスに交流学級で参加していたAくんは、運動が苦手で縄跳びを1回も跳ぶことができませんでした。長縄跳びでAくんがいないときは何十回も跳べるのですが、Aくんが入ると1回も跳ぶことはできません。体育祭を目前にし、Aくんを入れて長縄跳びに臨むべきか、Aくん抜きで臨むべきか、クラスのみんなは悩みました。最終的に出した結論は「Aくんはクラスの仲間だから一緒に跳ぼう」というものでした。1回跳ぶことを目標にし、数人でAくんを持ち上げながら跳ぶ作戦を立てました。しかし、結果は1回も跳ぶことができず、順位は最下位でした。それでもクラスのみんなは満足げな表情で競技を終えました。

この後、このクラスがどのように成長したかは想像できると思います。行事がある度にクラスのみんながAくんを支えながら、一緒に活動できるようになりました。Aくん以外の生徒達もお互いに認め合い、助け合って活動できるクラスに成長することができました。

T & F フェスタへの取組を通してどんな学級にするのか、そのためにどんなことを意識して当日に臨むのか、この機会にぜひ考えてほしいと思います。

また、その翌週は3年生の修学旅行、その次の週には1年生のまんたらめ研修と行事が続きます。「行事で何をを目指すのか（目標）」と「何のためにその行事を頑張るのか（目的）」を意識して臨んでください。行事の後にみなさんがどのように成長していくのかを楽しみにしています。

〔生徒指導主事：加賀谷記〕

T & F フェスタ当日の経路確認を！

5月16日（木）のT & F フェスタは「ソユースタジアム（八橋陸上競技場）」で行います。

8：20に「ソユースタジアム」に集合完了になっていますので、道に迷ったり遅れたりしないように次のことを各家庭で確認してください。（裏面に周辺地図を載せています。）

☐ソユースタジアムの場所 ☐移動手段（徒歩か自家用車等で送迎か） ☐自宅からの経路

訂正をお願いします

5月2日（木）に配付した『山王中学校いじめ防止基本方針』の一部訂正をお願いします。裏面にある「いじめに関する関係機関連絡先」の3行目「秋田市子ども未来センター」の名称と連絡先が変わりました。新しいものは以下の通りです。※HPには訂正済みのものを掲載しています。

秋田市子ども家庭センター子育て相談支援課 827-6017 月～土 9:00～17:00

